

SIT+KU gPBL: 持続可能な未来の構築: タイと日本の土木工学における協力的な解決策の探求に関するワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年08月23日 ～2023年09月01日	タイ	カセサート大学	・土木工学科、社会基盤学専攻 ・学部1年生、学部2年生、学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生59名、学生バイト7名、教員1名 (カセサート大学) 学生52名、教員6名、職員4名	福積 真哉(土木工学科)



開会式前の様子

カセサート大学バンコクキャンパス(メインキャンパス)、カセサート大学シラチャキャンパス、およびパタヤ(チョンブリー)において、「Building a Sustainable Future: Exploring Collaborative Solutions in Civil Engineering for Thailand and Japan(持続可能な未来の構築: タイと日本の土木工学における協力的な解決策の探求)」というテーマでグローバルPBLを実施した。

このグローバルPBLには、本学(SIT)から土木工学科を中心に59名、さらにカセサート大学から52名の計111名の土木系学生が参加した。グローバルPBLの期間中には、午前中には特別講演やデモンストレーションなどの全体イベントが行われ、午後には11つのグループに分かれて、キャンパス内外でテーマに沿った活動が行われた。また、期間中にはパタヤ(チョンブリー)への遠征(2泊3日)も行われ、シラチャ市役所を訪問し、シラチャ市長からタイと日本の協力に基づく都市計画の概要を聞くとともに、計画現場を実際に視察した。さらに、カセサート大学シラチャキャンパスも訪問し、土工の模擬コンテストが行われた。

グループ活動では、「Building a Sustainable Future: Exploring Collaborative Solutions in Civil Engineering for Thailand and Japan」について、各グループ内で共有や議論が行われた。最終発表会では、SITとKUの学生が協力して取り組んだ成果が示され、持続可能な未来を築くために土木工学が果たすべき役割が明確になった。

全体イベントでは、タイと日本の両国で有名な地盤工学者であるカセサート大学のDr. Suttisak Soralumpから、タイの洪水からの避難対策に関する特別講演があった。また、タイ三信建設工業株式会社の協力により、熱帯雨林環境下での地盤改良工法に関する講演やデモンストレーションも行われた。



デモンストレーションの様子



グループ活動の様子



コンテストの様子



現場見学の様子



最終発表会の様子



帰路に経つ空港までお見送り